

# 英語を楽しく

No.198

## ☆日本人が間違いやすい英語-3



A 小学校、明日が研究発表会の日、教頭先生から、児童のテストを見ている時 B 先生は、

“ Mr B, will you be able to check the mikes  
in the gymnasium right away? ”

(gymnasium: 体育館)



「B 先生、すぐに体育館のマイクの点検をやってもらえますか？」

と頼まれた。でも、B 先生は児童のテストを見ていて忙しかつたので、無理だと思い、

“ I won't.”

と答えてしまった。教頭先生は、予想もしなかった返事に、目を白黒させた。なぜ？

“ I won't.” は 「無理です。」 という意味ですが、

Will you~? で聞いている質問に対して、 I won't. と答えると、

「しません。」 と言っていることになります。

「will」 は、自分の意思を示す言葉ですから、 I won't. は 当然、自分の意志で「しない」と言っているわけで、教頭先生には、B 先生の言葉が、

「私、する気がありません。」

と捉えられたのでしょう。こんな場合は、

“ I'm afraid I won't be able to check them right away. ”

(「今すぐには点検できそうにはないのですが。」)

“ I'm sorry, but I won't be able to do that right away. ”

(「すみません。すぐには無理です。」)

のように、 I'm afraid や I'm sorry を文の前に持ってくると、

「期待に応えられなくて申し訳ない」

という気持ちが伝わります。B 先生はちょっと言葉が足りませんでした。おいしい！

I'm afraid や I'm sorry, = 「期待に応えられなくて申し訳ない気持ちを表現」